

「時期」と「契約」の問題を総整理

収益認識基準における 工事進行基準の論点

第1章

進行・完成・原価回収の3基準の適用は

工事進行基準と収益認識の「時期」の論点

第2章

結合や変更の取扱いをどうするか

工事進行基準と顧客との「契約」の論点

小笠原 直(監査法人アヴァンティア 公認会計士)

収益認識会計基準により、「工事契約会計基準」や「工事契約適用指針」、「ソフトウェア取引実務対応報告」が廃止され、これまでの工事進行基準の適用実務は、収益認識基準の適用にあわせて変わることになる。

そこで、収益認識基準において、工事進行基準における論点がどのように変更になったかを整理し、特に留意が必要と考えられる収益認識時期ならびに顧客との契約に関する論点について解説していただいた。